

大学図書館問題研究会 京都

〒607 京都市山科区大宅山田町34
(Tell) 075-574-4118

京都橘女子大学図書館 小林倫道気付
(Fax) 075-574-4124

大図研大学『情報管理論』へ!!

大学図書館問題研究会京都支部

大学図書館に働く皆さん!!

大学図書館の現場にコンピューターが持ち込まれて以来、急に様々な「かたち」をした情報が氾濫してきたように思われませんか? コンピューターは私たちの仕事の在り様まで変えて来たように思われませんか?

情報処理と通信技術の発達は、コンピューターの発明と発達によって情報の流れと「かたち」を大きく変えて来ました。

学術情報の流れと「かたち」もまた、変って来ています。

ところが、この「情報の流れとかたち」は、情報科学の発達で私たちには「魔法のランプ」のように、ブラックボックスになりつつあります。

大学図書館にとって情報とは何か。大学図書館にとって情報を収集し、加工・蓄積し、提供するとはどういうことなのか。

大図研京都支部は今回、このことにこだわって、皆さんといっしょに考えてみます。

「大学図書館にとっての『情報管理論』」を皆さんといっしょに考えてくださる講師の先生は、「大学図書館論」の同志社大学の大城善盛先生と、「情報管理論」の三重大学の柴田正美先生のお二人です。両先生にはご専門の立場から「大学図書館にとっての『情報管理論』」に迫って頂きます。

あなたの10月からのスケジュールに是非、大図研大学『情報管理論』をお書き加え下さい(次ページに詳細)。一人でも多くの方々が
大図研大学に参加して、『情報管理論』の世界に踏み込んで下さることを期待してやみません。

(以下、「開講のご案内と講義の概要」)

大図研大学「情報管理論」
詳細PR号

大図研大学『情報管理論』

開講のご案内と講義の概要

(第1回) 現代社会における大学図書館 (大城)

10月24日(日) 13:00~16:30 *終了後懇親会(17時~)

①情報(化)社会の特徴、②情報(化)社会における大学の役割、③大学の役割と大学図書館の関係、等を概観する。また、情報サービス、情報リテラシー教育、変容するコレクション、情報資源という概念、マーケティングやプロの司書の必要性など、大学図書館が直面している課題についても言及する。

参考文献：天野郁夫『日本の大学像を求めて』（玉川大学出版部、1991）

岩猿敏生他『大学図書館の管理と運営』（日本図書館協会、1992）

Brevik, P. S. & Gee, E. G.

Information literacy : revolution in the library.

(Macmillan, 1989)

(第2回) 情報管理概論 (柴田)

11月14日(日) 13:00~16:30 *終了後懇親会(17時~)

管理する対象としての情報をどう把握するかを考えてみたい。

特に情報を受け取る利用者が何を「情報」として認識するかが大切なところである。大学図書館にやってくる多様な利用者は個々に情報への認識が異なっているはずであり、それらを総体として把握しなければ大学図書館での情報管理を行なうことは出来ない。

また最大限に有効な情報へのアクセスを利用者は期待しているが故に、得られた情報を非常にシリアスに評価する。一度有効でない情報に接すると、その情報システム全体を無効であるかのように錯覚する。利用者の行なったアクセスの方法の良否を図書館が問うことはできない。すべて情報管理を行なっている側の責任である。

(第3回) データベース概論 (大城)

12月12日(日) 13:00~16:30

データベースとは何か、どのような種類のデータベースがあるか、図書館にとってデータベースの効用とは何か、等について概説する。また、書誌(目録)データベースを中心に、データベース設計、マスターファイル、倒置(検索)ファイル、データベースの評価等についても概論的に触れる。

参考文献：藤田節子『データベース設計入門』(日外アソシエーツ、1992)
上田修一・三輪真木子『書誌データベース構築法』(丸善、1991)

(第4回) データベース利用の実際 (柴田)

1月23日(日) 13:00~16:30

データベース検索はレファレンス・サービスの一つとして大学では教えられている。実際の検索に至る過程を点検してみるとなるほどレファレンス・サービスの過程と良く似ている。けれども、利用するデータベースが異なると結果は大きく変化する。

同じ課題で幾つかのデータベースを実際に検索してみるとどのような違いがあるかを検証してみたい。データ項目の問題、論理演算の記号、収録データの新旧や範囲、結果表示までの過程の違いなどを比較して考える。

この結果から検索担当者の利用者にとっての役割や、今後のあるべき姿が浮き彫りとされるのではないだろうか。

(第5回) 図書館システム概論 (大城)

2月20日(日) 13:00~16:30

システムとは何か、図書館のシステムとは何か、図書館システムは従来の考え方とどう異なるのか、システムとしての図書館の在り方、等について概観する。また、図書館システムにおける蔵書構築、目録システム、情報サービス、ネットワーク、業務のコンピュータ化、等についても触れる。

参考文献：Dowlin, K. E. 著、松村多美子(他)訳『エレクトロニック・ライブラリー』(丸善、1987)
根岸正光(他)『図書館システムの将来像』(紀伊国屋書店、1991)
井出翁『情報サービス・システム』(「講座図書館の理論と実際」6 雄山閣、1992)

(第6回) ニューメディア (柴田)

3月13日(日) 13:00~16:30

情報管理はコンピュータ機器の発展・展開とともに次々と様相を変化させている。通信技術と結び付いたネットワークの進展も情報管理を異なったフェーズに導いている。電子出版が大学図書館における情報提供サービスを根本的に変えようとしている。CD-ROMもその一つであり、パソコン通信やファックスによる業務の変革も起こっている。

これらの展開について、情報を仲介的に提供する機能を果たそうとしている大学図書館の立場から、批判的に見てゆこうとするものである。情報管理が機器管理ではなく、情報提供を使命とする図書館において特有の意義をもつことを強調したい。

オプション

「立命館大学びわこくさつキャンパス総合情報センター見学会」(4月に開催予定)

参加費 1回 1500円 (通しの場合 8000円)
(懇親会別)

系統立てた講義になっていますので、講師の先生方のご配慮もあり、通しで申込の場合は割安にいたしました。

会場 同志社大学人文科学研究所共同研究室 (啓明館2階)

* 地下鉄烏丸線今出川駅下車、今出川通を東へ1筋
(最初の信号)、北東角の門を入れて最初の建物

申込 ご面倒ですが、「申し込みはがき」に必要事項をご記入の上、下記の事務局に郵送して下さい。

〒606 京都市左京区吉田本町 竹村心 気付
大図研大学事務局

問合せ 京都大学教育学部事務室 竹村 または 小島
☎ 075 (753) 7531 内線 3015